会報
神奈川県私立幼稚園連合会
2024年7月号
SHIN-SHI-YOU 神私幼 Vol.223
（昭和29年7月10日創刊）
http://www.shinshiyou.com
〒221-0055 横浜市神奈川区大野町1-25 横浜ポートサイドプレイス509 アネックス5F
TEL. 045（440）3210　FAX.045（440）3209
発行元／公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会　発行人／会長 木元　茂　編集人／神私幼総務部（広報委員会）　発行／年3回　発行部数／1800部

令和6年度 幼稚園経営の課題について



公益社団法人
神奈川県私立幼稚園連合会
会長 木元 茂

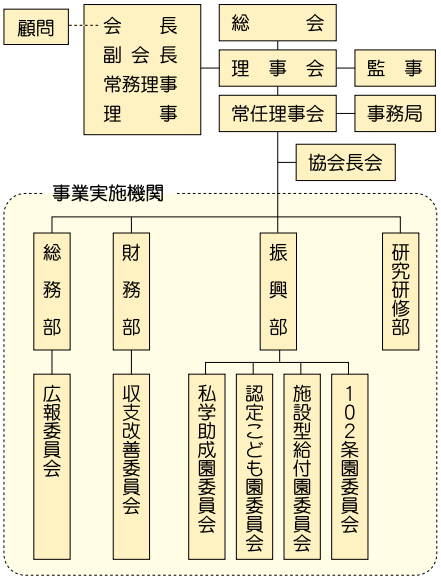
令和6年度定時総会におきまして、令和6・7年度の会長として選任をいただきました。2期目となりますが課題も山積しておりますので、皆様のご協力をいただきながら神奈川県私立幼稚園連合会の運営に尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

この度の総会では、定款の一部変更についてご審議をいただき、県連の組織の形を変え、さらに多くの規程の見直しを行いました。園児減少に伴う会費収入の落ち込みを補うことは難しいことですが、事業や予算の見直しを行いながらも県連の重要な事業である研究研修の質を落とさないよう、県内5地区12協会の先生方と協力して事業を推進してまいります。ただ、研修の担い手が減少しているのは事実であり、加盟園の皆様にも是非、県連運営の担い手としてご協力いただきますようお願いいたします。さらには研究研修に関わってくださる先生や講師の先生の必要経費まで削減するわけにはいきませんので、研修の有料化についても今後検討を進めていく必要がありそうです。

さて、2023年の合計特殊出生率が1・20と過去最低を更新しました。国やマスコミはこれからの数年が少子化にブレーキをかけるラストチャンスと言っていますが、子どもが生まれる以前に結婚をしない若者が多くなり、結婚したとしても出産する年齢も上昇していますので、第2子・第3子というご家庭も少なくなっています。また、出産する際の費用や子どもが成長する途上での子育てにかかる費用、幼児教育・高等教育の学費等も負担が大きいので、「子どもを持つことが損なこと」との認識が広がっていて、日本だけでなく他の国においてさえもそのような傾向が顕著になっているそうです。

この数年、神奈川県私立学校審議会で幼稚園の閉園、学校法人の解散が審議されています。寄附行為で寄附をしていますので、最後は土地建物を処分して現金化して県に納付するか、同様の公益事業者に譲渡することになります。子どもの歓声に包まれていた空間が、宅地やマンションになるのです。高度経済成長期にご自身の土地やお金を拠出して寄附によって設立した幼稚園や学校法人が無くなり、乳幼児を育てるノウハウが霞のごとく消え去り、親子が憩う空間が無くなって本当に良いのでしょうか？公益事業としての幼児教育の場を守るために、私たちが県内の地方議会・行政と協力して「幼稚園の新たな役割」を創造する必要が

神奈川県私立幼稚園連合会 新 組織図



INDEX

1 2 3 令和6年度 幼稚園経営の課題について
●（公社）神奈川県私立幼稚園連合会 会長 木元　茂
神奈川県福祉子どもみらい局より
私学振興課 私立学校法の改正に向けて ●課長 山田 ふみ子
次世代育成課 子ども・子育て支援について ●課長 深石　薫
4 5 公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会 令和6・7年度 役員名簿
令和6・7年度 12協会長及び協会データ
6 7 各事業部より 本年度の活動方針
●総務部長 鈴木 豊司 ●財務部長 藤田　聡 ●振興部長 仁藤 一成
●研究研修担当副会長 石渡 宏之
8 9 研究研修部 活動報告
■研究特別委員会 A部会 ■研究特別委員会 B部会 ■リーダー育成塾
■オンデマンド研修 ■研修参加確認証ご案内
10 研修会報告
感謝をこめて 退任理事・運営委員・監事の紹介
法律相談／教育相談
広報委員会からのお知らせ
11 令和6年度
神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 委員総会 開催報告
12 訃報／新規加盟予定園情報／ケンタガーデン㉑

年度初めに掲載しておりました県連の事業予定表は県連ホームページ「会員の方」→「行事日程」にて随時掲載してまいります。
https://www.shinshiyou.com/listdata2013/sche32.cgi

あるのではないでしょうか。神奈川県の合計特殊出生率「1・13」はもう残された時間が少ないことを表しています。

令和6年度は私立学校経営者にとってもう一つ大きな課題があります。私立学校法の改正に伴う寄附行為の変更はすべての学校法人に関わり、令和6年度中に新寄附行為の認可を受ける必要があります。そろそろ本格的な検討を開始しないといけない時期となりました。

大学学校法人と比べて小規模の幼稚園学校法人が同じ法律で論じられるのは厳しい面がありますが、法律が成立している以上従わざるを得ません。理事長の不勉強が次世代の後継者に災いを残すことになってはいけません。将来に禍根を残すことのないよう、モデルで提示されている寄附行為案を鵜呑みにせずに、経営する学校法人にとって何が大切かを公認会計士や弁護士に相談することをお勧めいたします。

県連としても現在日本公認会計士協会神奈川県会の正副会長・役員の皆さんと寄附行為案の作成について相談をしています。

今後は幼稚園法人の標準的な寄附行為案を県連として皆様にご提示できないか検討してまいります。

こども家庭庁が令和7年4月1日から実施する予定の、「新たな継続的な見える化の制度における報告・公表の在り方について」は、既に始まっている令和6年度の事業から対象になります。簡単に言うと「来年の春、令和6年度の決算が終わったら、令和7年8月までに貴園の経営情報を報告してください」「報告先は、**ここdeサーチ**※」です。

報告する経営情報等は

①人員配置（基準上の配置と実際の配置、職員の属性情報　等）
↓報告内容としては給付・監査等で通常把握されている情報

②職員給与（賃金水準、処遇改善状況、職員の属性情報　等）
↓処遇改善加算の実績報告書を活用

③収支の状況（収入・支出の科目別の金額、人件費関連科目の内訳　等）
↓各法人の会計基準に従って作成する決算書類の様式を活用

これらの集めた情報を基に、「公定価格の改善をはじめとする政策検討に活用」「保護者による施設・事業者の選択」「保育士等の求職者の職場の選択やキャリア検討」、施設・事業者の権利利益を保護しながら「モデル給与」「人件費比率」「職員配置状況」などを公表することになります。保育施設において処遇改善手当が保育従事者に届いていないという実態があり、当面新制度園が対象と言われていますが、幼児教育が無償化になって多くの税金が幼児教育分野に投入されているのも事実なので、国民からの厳しい目に耐えられる園運営を引き続き心がけてまいりましょう。

全日本私立幼稚園連合会の総会において令和6・7年度の新役員が選任されました。

会　長　尾上正史（福岡）
副会長　近藤　宏（北海道）
　　山西幸子（青森）
　　角谷正雄（新潟）
　　内野光裕（東京）
　　藤本明弘（京都）

会長も田中雅道先生から尾上正史先生に変わり、今後さらにガバナンスを強化し組織改革を進めていくことになります。詳細は私幼時報をご覧ください。なお3名の監事のお一人に川崎協会の鈴木伸司先生が選任されました。全日の財務・組織運営をしっかり監督するために数多くの会議への出席を求められるハードなポジションです。お引き受けいただいたことに心より感謝いたします。

※「ここdeサーチ」とは

こども家庭庁が運営する子ども・子育て支援情報公表システム。施設の住所、教育・保育内容、利用定員、実費徴収額などの詳細がわかり、これから施設を探される方、引っ越しなどで転園を考えている方、休日に一時利用を希望される方などが、お近くの施設を探す際にご活用いただける内容となっております。このシステムを通して仕事と子育ての両立をしやすい環境づくりを目指します。

神奈川県福祉子どもみらい局より

私学振興課

私立学校法の改正に向けて

課長　山田　ふみ子



公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会の皆様におかれましては、日頃から本県の幼稚園教育の振興と発展に御尽力いただき、改めて感謝申し上げます。

○私立学校法の改正について

令和5年5月8日に公布された「私立学校法の一部を改正する法律」は、令和7年4月1日から施行されます。今回の法改正の趣旨は、私立学校が一層発展していくため、社会の要請に応え得る実効性のあるガバナンス改革を推進するために制度改正が行われたものです。幅広い関係者の意見の反映を図るため、役員等の資格、選任手続などが見直されたことから、全ての学校法人において、寄附行為の変更が必要となります。そこで、本稿では法改正のポイントについて御説明いたします。

◎役員等の選任・解任手続について

○理事の選任・解任

・改正前…寄附行為の定めによる
・改正後…理事選任機関（寄附行為で定める）が選任・解任を行う

○理事長の選定

・改正前…寄附行為の定めによる
・改正後…理事会が選定

○監事の選任・解任

・改正前…評議員会の同意を得て理事長が選任・寄附行為の定めにより解任
・改正後…評議員会の決議による

○役員等の任期

・改正前…寄附行為の定めによる
・改正後…寄附行為で定める期間以内に終了する最終年度に関する定時評議員会の終結の時まで（期間の上限／理事4年、監事・評議員6年、理事の期間は監事・評議員の期間を超えない）

○理事・評議員の定数

・改正前…評議員は理事の2倍を超える数
・改正後…評議員は理事を超える数

◎役員等の兼職制限について

○理事と評議員との兼職

・改正前…兼職必須
・改正後…兼職不可

※詳しくは、下記の神奈川県・文部科学省のウェブサイト掲載資料を参照してください。

各私立幼稚園・学校法人における教育の質を向上させるための一つの手段としてのガバナンス改革の取組を、県としてもしっかり支援してまいりますので、寄附行為変更認可申請等の手続につきまして、御理解、御協力くださるようお願いいたします。

●神奈川県「私立学校法の改正に係る説明会の資料」URL
https://www.pref.kanagawa.jp/docs/v3e/houkaisei/r7shigakuhou.html
●文部科学省「私立学校法の改正について（令和５年改正）」URL
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shiritsu/mext_00001.html

次世代育成課

子ども・子育て支援について

課長　深石　薫



○子ども・子育て支援をめぐる国の動向について

国が「こども家庭庁」をスタートさせてから1年が経ちました。令和6年6月には、子ども・子育て支援法などの改正法が成立し、支援金制度の創設や児童手当の所得制限の撤廃、「こども誰でも通園制度」の導入など、様々な子ども・子育てに関する取組が盛り込まれています。

また、「こどもまんなか宣言」の趣旨に賛同して、その取組を応援し、自らも行動する個人や団体を「こどもまんなか応援サポーター」と呼ぶこととし、子ども・子育てにやさしい社会づくりに向けた機運の醸成を図っています。

○神奈川県の子ども・子育て政策について

本県では、国の動きに迅速に対応するとともに、子ども施策の充実に向けた取組を中長期的な視点に立って進めるため、令和5年3月「子ども・子育て基金」を設置し、ＬＩＮＥを活用して子育て支援情報をプッシュ型で届ける「かながわ子育てパーソナルサポート事業」や、公共交通機関の車内デジタル広告を活用し、県や各市町村のこどもまんなかの取組や子育て応援メッセージを発信するなど、10を超える事業に取り組みました。

また、令和6年度からは、保護者と保育士双方の負担を軽減するため、保育所等の使用済み紙おむつの処分費用への補助等を行った「手ぶらで保育」の取組をさらに推進し、お昼寝用のコットやおむつの保管庫などへの補助制度を創設しました。

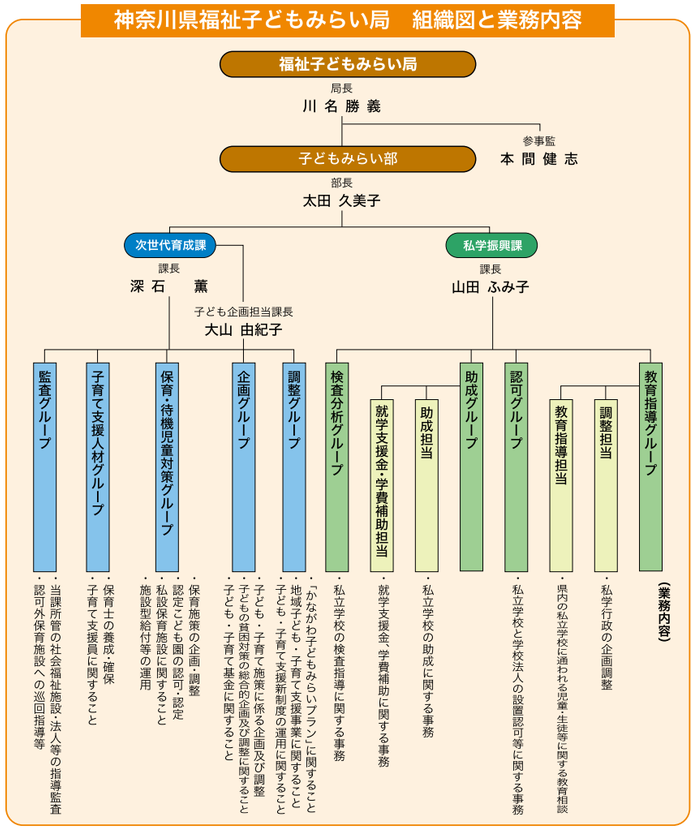
さらに、県内の保育所等で効果的な「インクルーシブ保育」を行うことができるようにするため、神奈川県私立幼稚園連合会の理事を含めた有識者が参加する検討会にて、「インクルーシブ保育」のあり方を研究していきます。

○保育の観点から、現在の幼児教育界に期待することについて

神奈川県では、市町村と連携して保育所等の整備を進め、定員を拡充して保育ニーズの受け皿の確保に努めておりますが、待機児童の解消には至っていません。

そのような状況で、皆様には、日ごろから保護者の保育ニーズに応え、預かり保育や子育て相談などの子育て支援事業を実施していただくなど、安心して子育てができる環境の整備にご尽力いただいております。今後も引き続き保育ニーズに応えた環境整備へのご協力をよろしくお願いします。

神奈川県福祉子どもみらい局　組織図と業務内容



公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会　令和6・7年度 役員名簿



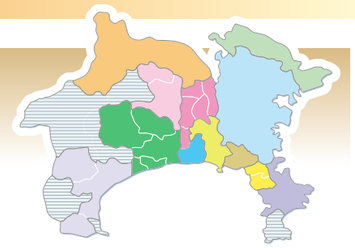





会長	副会長				
木元 茂	石井和則 会長補佐	田中伸宣 総務担当	池田 清 財務担当	石渡宏之 研究研修担当	武藤薫子 振興担当

役職			氏名（○印は協会長）	園役職	園名
顧問			小澤俊通	理事長	認定こども園 厚木田園幼稚園
業務執行理事	会長		木元 茂	理事長	白幡幼稚園
	副会長	会長補佐	石井和則	理事長・園長	認定こども園はらのこ原幼稚園
		総務	○ 田中伸宣	理事長	綾南幼稚園
		財務	○ 池田 清	理事長・園長	ふじがおか第二幼稚園
		研究研修	○ 石渡宏之	理事長	江川幼稚園
		振興	○ 武藤薫子	園長	聖和学院幼稚園
	総務部長（常務理事）		鈴木豊司	理事長	認定こども園 横須賀幼稚園
	財務部長（常務理事）		藤田 聡	理事長・園長	潮見台みどり幼稚園
	振興部長（常務理事）		仁藤一成	理事長	川崎こまどり幼稚園
	ガバナンス担当（常務理事）		鈴木伸司	理事長・園長	みゆき幼稚園
理事	総務部次長		淺谷 学	理事長	中野島幼稚園
	財務部次長		吉原一久	園長	池辺白ゆり幼稚園
	振興部次長		樽木陽子	理事長	認定こども園追浜幼稚園
	研究研修部次長		後藤光葉	理事長・園長	西鎌倉幼稚園
	広報委員会委員長		○ 島田美緒	園長	浅野記念御濠端幼稚園
	広報委員会副委員長		近藤康弘	理事長・園長	名瀬幼稚園
	収支改善委員会委員長		嶋崎正浩	理事長	津田山幼稚園
	私学助成園委員会委員長		中村達也	理事長・園長	宮崎台幼稚園
	認定こども園委員会委員長		西山俊太郎	理事長・園長	認定こども園峯岡幼稚園
	施設型給付園委員会委員長		○ 中尾賢治	園長	ちぐさ幼稚園
	振興部		○ 清水純也	園長	認定こども園 泉ヶ丘幼稚園
	振興部		○ 日比野美香	園長	認定こども園アワーキッズ鎌倉
	振興部		○ 白川 敦	園長	清水学園付属幼稚園
	振興部		○ 永保貴章	園長	認定こども園 田名幼稚園
	102条園委員会		青木完升	副園長	あさひな幼稚園
	施設型給付園委員会		安西 透	理事長・園長	平和幼稚園
	収支改善委員会		小笠原 裕	理事長・学園長	平戸幼稚園
	研究研修部		小池清美	園長	戸部幼稚園
	102条園委員会		塩崎 隆	園長	双葉幼稚園
	広報委員会		鈴木砂織	理事長	しらぎく幼稚園
	認定こども園委員会		田野岡由紀子	理事長・学園長	認定こども園山王台幼稚園
	広報委員会		野末晃秀	理事長・園長	中山幼稚園
	総務部		佐藤教寛	理事長・園長	大楽幼稚園
	総務部		髙野正基	理事長・園長	湘南台幼稚園
	広報委員会		杉崎直人	理事長・園長	茅ヶ崎すみれ幼稚園
	研究研修部		佐伯妙有	園長	伊勢原ひかり幼稚園
	102条園委員会		溝渕真澄	理事長・園長	誠心第一幼稚園
	認定こども園委員会		中野裕正	事務長	認定こども園　厚木のぞみ幼稚園
監事			柏木照正	理事長	柏木学園
			小山直久	理事長	伊勢原山王幼稚園

令和6・7年度 12協会長及び協会データ



①協会長園　②事務局

相和私立幼稚園協会

会長 田中伸宣



①綾南幼稚園
〒252-1113
綾瀬市上土棚中 1-10-6
TEL. 0467-76-0007
FAX. 0467-76-0010
②鈴鹿幼稚園（山本知大）
〒252-0029
座間市入谷西2-51-6
TEL. 046-251-6200
FAX. 046-251-6690

https://sowapka.jp/

鎌倉私立幼稚園協会

会長 日比野美香



①認定こども園アワーキッズ鎌倉
〒247-0064
鎌倉市寺分1-15-4
TEL. 0467-46-2610
FAX. 0467-46-6115
②モンタナ幼稚園（池田久美子）
〒248-0032
鎌倉市津550
TEL. 0467-32-5741
FAX. 0467-39-3650

http://www.kidslink.jp/kamakura/

公益社団法人横浜市幼稚園協会

会長 清水純也



①認定こども園 泉ヶ丘幼稚園
〒245-0022
横浜市泉区和泉が丘3-9-1
TEL. 045-803-4791
FAX. 045-804-5547
②〒221-0055
横浜市神奈川区大野町1-25
横浜ポートサイドプレイス509 アネックス5F
TEL. 045-534-8708
FAX. 045-453-1120

https://kids-yokohama.or.jp/

一般社団法人相模原市幼稚園・認定こども園協会

会長 永保貴章



①認定こども園 田名幼稚園
〒252-0246
相模原市中央区水郷田名1-16-3
TEL. 042-761-1606
FAX. 042-761-1669
②〒252-0236
相模原市中央区富士見6-6-23
けやき会館3F
TEL. 042-751-3606
FAX. 042-751-3706

http://soshiyo.net/

茅ヶ崎市私立幼稚園協会

会長 磯西真理子



①認定こども園 湘南マドカ幼稚園
〒253-0084
茅ヶ崎市円蔵1-20-15
TEL. 0467-54-2363
FAX. 0467-52-4269
②平和学園幼稚園（村山雄一）
〒253-0031
茅ヶ崎市富士見町5-2
TEL. 0467-87-1661
FAX. 0467-87-0145

https://rarea.events/features/chigasakiyouchien

公益社団法人川崎市幼稚園協会

会長 石渡宏之



①江川幼稚園
〒210-0823
川崎市川崎区江川2-5-5
TEL. 044-299-1781
FAX. 044-277-4118
②〒211-0063
川崎市中原区小杉町3-2-1
ダイアパレス武蔵小杉311号
TEL. 044-711-8383
FAX. 044-733-5000

https://www.youchien.org/

逗葉私立幼稚園協会

会長 武藤薫子



①聖和学院幼稚園
〒249-0001
逗子市久木2-2-1
TEL. 046-871-2670
FAX. 046-873-5500
②あけの星幼稚園（竹石素子）
〒240-0112
三浦郡葉山町堀内1968
TEL. 046-875-2762
FAX. 046-876-2535

湘央地区私立幼稚園協会

会長 白川 敦



①清水学園付属幼稚園
〒254-0904
平塚市根坂間 645
TEL. 0463-58-8080
FAX. 0463-58-9322
②なでしこ幼稚園（灘波俊夫）
〒254-0052
平塚市平塚1-14-3
TEL. 0463-31-2471
FAX. 0463-31-6547

横須賀市私立幼稚園・認定こども園協会

会長 余郷有聡



①津久井幼稚園
〒239-0843
横須賀市津久井1-12-28
TEL. 046-848-2414
FAX. 046-848-4415
①認定こども園 相武幼稚園（山田勝美）
〒238-0311
横須賀市太田和5-2665
TEL. 046-857-1029
FAX. 046-857-5455

https://sites.google.com/view/yokosukayouchienninteikodomoen/

厚木地区私立幼稚園協会

会長 中尾賢治



①ちぐさ幼稚園
〒243-0003
厚木市寿町2-6-19
TEL. 046-221-0730
FAX. 046-205-0031
②認定こども園 厚木田園幼稚園（山本直人）
〒243-0211
厚木市三田1303
TEL. 046-223-7543
FAX. 046-223-7270

小田原私立幼稚園協会

会長 島田美緒



①浅野記念御濠端幼稚園
〒250-0014
小田原市城内2-16
TEL. 0465-23-2958
FAX. 0465-23-2290
②れんげ幼稚園（簾内明子）
〒250-0003
小田原市東町3-12-23
TEL. 0465-34-4538
FAX. 0465-34-6720

特定非営利活動法人藤沢市私立幼稚園協会

会長 池田 清



①ふじがおか第二幼稚園
〒251-0004
藤沢市藤が岡 3-13-8
TEL. 0466-25-3101
FAX. 0466-25-0517
②〒251-0024
藤沢市鵠沼橘 1-1-14
第一興産12号館4階
TEL. 0466-54-0711
FAX. 0466-54-0710

https://www.fujisawa-syk.com/

各事業部より 本年度の活動方針

本年度より組織が再編され新たに4事業部での活動となりました。2年間の活動について、事業部の先生方に新年度の方針・目標を語っていただきました。加盟園を代表して重責を引き受けてくださった先生方とともに、各園の先生方も幼児教育振興にご協力願いたいと思います。

総務部　県連合会の意義が問われるとき



鈴木　豊司

この度、3期目の総務部長職を拝命する事となりました。力不足は自覚していますが、引き続き全力で業務に邁進致します。

ところで今期より組織改正がなされ、傘下の財務室が部へと昇格し、総務部は広報委員会（旧広報室）のみを含めたコンパクトな部へと生まれ変わりました。同時に振興部の「神奈川県私立幼稚園父母の会連合会」関連事業及び旧経営管理部の「就職相談事業」が当部へと移管されてきたことで、業務量は増えました。

また経営管理部長・経営管理部担当副会長を歴任された川崎協会淺谷学先生が次長に、総務担当副会長に相和協会田中伸宜先生、また広報委員長に小田原協会の島田美緒先生と、県連活動ご経験豊かなメンバーを迎え、今期はチーム一丸で総務運営を担って参りたい所存です。どうぞ宜しくお願い致します。

さて県内幼稚園の新制度への移行が進み、同時に、給付金窓口の市町村へ各地区協会にて陳情に赴かれる機会が以前と比較し格段に増えた事と思います。ですが、実は補助金・給付金の出処の大半は国家予算であり、地区行政への折衝は勿論重要ながら、限界があるのもまた事実です。一方で国や行政の幼児教育保育への考え方に現場との乖離があると感じた経験はないでしょうか。一人で相手を動かすことは難しいですが、団結する事で不可能を可能にすることができます。

広い県内、地区毎の課題やアイディアの情報共有と意見の集約。また県や上部団体である全日私幼連を通じての国への働きかけを無くしては今後の我々の経営環境の向上を見込めるはずはありません。是非この機会に再び県幼稚園連合会を積極的に活用頂き、多くの皆様に「よううちえん会館」へと足をお運び頂きたいと思います。

また県連合会では積極的な研修・研究活動も継続して参ります。以前と比べオンライン講習の割合も増え、移動による時間と労力の負担を無くして研修に参加できる機会が増えました。多岐にわたる研修項目も豊富にご用意していますし、勿論会場にお越し頂く事で、教職員の皆様の親睦の輪を広げることができます。

地区ごとの活動比重が増してきた今だからこそ、同時に積極的な県連合会の活用が鍵となると感じています。教育の質及び経営環境の向上を目指し、今まで以上に県連合会への積極的な参加・活用を頂けましたらと思います。

財務部　事業の効率化



藤田　聡

今までは「財務室」の名称で総務部に属しておりましたが、組織の再編により、「財務部」として単独の部に移行しました。園児減少に伴う会費収入の減少、物価高騰、ようちえん会館の修繕費の値上げなど、連合会が直面している課題は多いため、その職責の重さを実感しております。

さて、連合会の収入の内訳は、会費収入が71％、資産運用（ようちえん会館の他団体への賃貸料）収入が15％、各種補助金収入が7％、その他の収入が8％となっております。収入の7割を占める会費収入が昨今の急激な園児減少により、ここ数年、250万円～300万円で減り続けています。そのため、会費の改定をせざるを得ない状況であることから、5月の総会において2年連続となる会費の改定を提案し、ご承認いただきました。

なお、少子化の流れが止まらない限り、今後も園児減少が続くことは確実なため、理事会を中心に、協会長会等でのご意見を伺いながら対応策を検討してまいります。

会費の改定を協議する一方で、経費の削減についても検討してきました。会費を値上げするにあたり、経費の削減は必須事項であるからです。事業部の再編により、ある程度の事業経費を削減することはできましたが、これまでにも経費削減に取り組んできたため、これ以上の事業経費の削減は事業目的を達成できなくなる可能性があり、また、連合会は公益認定を受けていますので、安易に事業を減らすことはできません。そのため、事業自体を削減するのではなく、事業の実施方法や連絡手段に係る経費を削減することを中心に進めています。

連合会ではコロナ禍においてネット環境を整えたことにより、大きな変革をもたらしました。それまでは対面での会議が当たり前の状況でしたが、オンラインで実施できるようになったことで、ネット環境があれば、どこからでも出席することができます。これにより交通費が削減されただけではなく、以前に比べ諸会議への出席率も向上しました。また研修活動についても同様、オンラインにすることで参加者が増加しました。自園や自宅から出席・参加することができますので、交通費以上に今まで連合会への往復にかかっていた時間が有効利用できるなど、双方にメリットが生まれたからです。

また、現在メールやバスキャッチを使った連絡や資料の送付などを行っていますが、昨今の郵便事情や今年10月1日から郵便料金の値上げが予定されていることから、今後は一層の電子化を進めるとともに、事業の効率化を図る予定です。そのためには各園の電子化対応が必要になりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

最後に組織の再編により、収支改善委員会が財務部直轄の委員会となりました。名称も臨時的な意味の「特別」が外れ、恒久的な委員会となり、委員長には川崎協会の嶋﨑正浩先生が就任しました。今後は二人三脚で諸課題に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。

振興部　新体制の振興部



仁藤　一成

令和6・7年度、振興部長を拝命しました川崎協会の仁藤です。よろしくお願いします。

前年度まで振興部は、渉外活動と父母連関係の所管でしたが、今年度より

・渉外活動と私学助成園委員会
委員長・中村達也先生（宮崎台幼稚園）
・認定こども園委員会
委員長・西山俊太郎先生（峯岡幼稚園）
・施設型給付園委員会
委員長・中尾賢治先生（ちぐさ幼稚園）
・102条園委員会
委員長・内田和代先生（相模原みどり幼稚園）

の5活動に変更になりました。初年度で手探りの運営ですが、各委員会で討議を行った結果を、行政・政治に伝えることが責務と考えております。実際に事業を進めることで、より良い方向性が打ち出せていければと考えております。

振興部が直接折衝を行うのは神奈川県当局・県会議員の方々ですが、各委員会での意見を当連合会会長・副会長を通じ全日へ、教育振興連盟を通じて国会議員の皆様へ伝えて参ります。各協会長の先生方は振興部員ですので、ご意見等ありましたらお話を頂ければ幸いです。

さて、今年度の予算要望の内容ですが、

1、経常費一般補助（経常費・勤続加算・処遇改善・102条園補助）
2、経常費補助特別補助（特別支援・預かり保育・地域開放・緊急環境整備・満3歳児への特別補助・物価高騰対策）
3、安心・安全な保育に向けて（通園バスの置き去り防止装置の付け替え・タブレット学習の推進に向けICT化支援補助制度等の拡充・園児の多国籍化への対応・こども誰でも通園制度利用促進のための施設整備）
4、人材確保及び質の向上（就職セミナー・処遇改善推進・4～5歳児の配置改善加算・インターンシップ教育実習生受入れ事業・求人対策への補助）
5、オンデマンド研修教材作成等への支援
6、神奈川県私立幼稚園連合会への支援

となっています。

昨年度は皆様方のご協力もあり、経常費の対象ではなかった満3歳児入園者への特別補助が新設されました。

今年度の大きな課題としては、一般補助の処遇改善上限額変更に伴う県当局の設定がどの様になるのか、次に特別補助では、特別支援補助がない市町村の新制度2号こどもへの支援補助、緊急環境整備費の圧縮、満3歳児補助の増額、置き去り防止装置付け替えへの補助（国庫補助で設置したものなので、一定期間廃棄出来ない）、人材確保及び質の向上での4～5歳児の配置改善加算が、チーム保育加算の適用がされている園は加算を受けられないことへの対応等があります。また、皆様もご存知の通り、連合会への支援（補助）要望もあります。一朝一夕には成果の出ない案件ばかりですが、粘り強く関係各位の皆様方に実情を訴えて参ります。

我々は子どもがいることで成り立っています。しかし現在の出生数は、外国人なども含めた2023年75万8631人で、前の年より4万1097人、率にして5・1％減少しました。出生数が減少するのは8年連続で、統計開始以来、過去最少になっています。戦後の第1次ベビーブーム期1949年に269万6638人が誕生し最多を記録、第2次ベビーブーム期1973年には209万1983人が生まれていました。この様な加速的な少子化・園児数減少の中、幼児教育に心血を注いでおられる皆様方の一助になれるよう努力いたします。また振興部のみならず、教育振興連盟へもご参加とご協力を賜りますよう、任期2年間よろしくお願い申し上げます。

研究研修部　素敵な保育者ってなんだろう



石渡　宏之

今年度より、本連合会の研究研修担当副会長となりました、川崎協会（江川幼稚園）の石渡です。思い返せば最初に県連での役割を頂けたのが研修部員の仕事だったかと思います。研修部員の仕事を通して、様々な講師の方々に引き合わせて頂き、他協会の皆さんと知り合う事ができました。また研修に参加された皆さんの受講中の姿勢、受講後の表情に元気をもらう事が多く、充実感のある役割を頂けた事に喜びが多くありました。あらためて研修の仕事を教えてくださった諸先輩方にも感謝申し上げます。

その様な経験もあり、この度研究研修担当という役職をお任せ頂けた事を非常に嬉しく感じております。微力ながら頂いた役目を果たせるよう尽力いたします。

さて、コロナ禍を経て、県連は事業の再編を行い、研究研修部も新たな体制となりました。「対面ならではの講座」と、「オンデマンドで提供する研修」を二つの軸として、研修の機会を増やすことと、多様な就労形態にも対応できるように致しました。

それから、新任教職員の研修も重要であると考えます。学校で学んだ事に、現場での経験を活かして新たに学ぶ事は、保育者として多くの喜びがあるかと考えます。

そして保育の現場では様々な発見があり、不思議があり、疑問が生まれ、解決できたらと思うことがしばしばあるかと思います。全ての研修に共通する事ですが、皆さんからの「知りたい」「学びたい」「あの講師の話を聞きたい」など、要望がありましたら是非声を届けて頂ければと考えます。

また、新たに『園長リーダー塾』も立ち上げ、私立幼稚園・認定こども園の園長、副園長、主任などの管理職や、将来的に管理職に就かれる方などを対象に『共に学ぶ場』を提供したいと考えた『会費制（メンバーシップ）の学びの場』となります。多くの皆様にご参加頂き、経営と保育について深めていかれたらと考えています。

県連合会では公私合同の研修など含め、外部との連携による学びの機会もあります。様々なテーマで幼児期の学びに触れて頂きたいと考えます。

それぞれの講座については研究研修部次長（3名）の後藤光葉先生（西鎌倉幼稚園）、古木大悟先生（認定こども園　相模林間幼稚園）、櫻井喜宣先生（さくらい幼稚園）の先生方から次項にて説明させて頂きますので一度お目通しいただき、受講頂けます様ご案内申し上げます。

皆さんの成長の先には、子どもたちの笑顔があります。皆さんの持っているたくさんのポケットを、更に広く、もっと深くして貰えたらと考えます。

研究研修部 活動報告

昨年度まで、研修事業部と研究部の2つに分かれていた事業部が、本年度より研究研修部として一つになりました。活動内容を充実し、研究研修活動を行ってまいります。

研究特別委員会

次長　櫻井喜宣

研究特別A部会

年間5回の対面研修に加え、施設見学1回（日時・見学施設決定後案内）をプログラムとして、和泉短期大学教授・松山洋平先生と40名を超える参加者と共に『対話を通して子ども理解を深める～子どもの姿を語り合い、保育を深め合おう～』というテーマで歩み始めました。

語り合い・深め合いの研修の軸は『往還型』。参加者自身が決めた実践してみたい（無理のない）テーマについて、自分なりに実践を試みる。その実践の記録（写真や文字記録等）を持ち寄りディスカッション。実践について語り合われたことや松山先生からのコメント等を自園に持ち帰り、また実践。そして、また持ち寄る。その第一歩が5月14日に開催され、松山先生からは道しるべとなるキーワードを示していただき、一つひとつをチームで咀嚼しながら、視点を探っていきました。道しるべの1つに『〝養護（care）が保育の基盤〟となり、〝遊びが学び〟になるために必要な核は〝ない〟ではなく、「ある」からの出発する「子ども理解」〟という話があり、改めて『生まれ持つ主体性を失わせないようにすること』、『子どものみている世界をともにみること』、『子どもが感じ・考え・体験していることを一緒に味わうこと』等の視点の重要性に出会ったり、再会したりしながら次回を見据えて動き出しました。A部会は当事者意識によって大きく左右する往還型研修。参加者と共に語り合い、築き上げる研修にしていきたいと思います。



研究特別B部会

東京大学名誉教授・公益社団法人信濃教育会教育研究所所長の佐伯胖先生をお迎えしての研究特別B部会。コーディネーターは鎌倉女子大学幼稚部長の森本壽子先生が務め、スタッフを含めると50名を超える参加者と共に5月24日から始まりました。B部会は、夏に全日本私立幼稚園幼児教育研究機構が開催する幼児教育実践学会において、神奈川地区の代表として研究発表をすることとなっており、実践提案をされるひだまりの保育園、宮前幼稚園の事例を軸に、佐伯胖先生と森本先生の討論から学びを深めていきました。

ひだまりの保育園の事例から討論された視点の1つに『子どもをみる→子どもからみる』がありました。『子どもをみる』とは、子どもがどうであるかを知ろうとする、子どもが何をしているかを詳細に記述する、子どもの行動をなんらかの「理論」で説明しようとするなど、佐伯胖先生は『子どもを〝三人称的に（外側から）〟みている』のだとお話しいただきました。

また、『子どもからみる』とは、子どもの内側に入って、子どもが周辺の何を見ているかを〝子どもから〟知る、子どもが何を感じ、何を思っているかを、自分事として、共に感じ、共に思い巡らせる。そのとき、子どもが〝どうであるか〟が見えてきて、子どもの〝思い〟や〝願い〟が見えてくる（感じられる）。まさに『子どもを〝二人称的に（内側から）〟みている』ということというお話をいただきました。



宮前幼稚園の事例からは、子どもの『訴え』を聴くとは、『思い』を読み取り、『願い』を探り出すこととお話しいただきました。

佐伯胖先生と森本先生の討論を会報では伝えきれませんが、参加者と共に、言葉一つひとつを拾い集め、咀嚼し、対話を重ねながら、日々の保育、子ども一人ひとりの理解と暮らしの充実に繋げていきたいと思います。

リーダー育成塾

次長　後藤光葉

いよいよ始まりました「園長・リーダー塾」事業。

これまで実施しておりました「若手後継者のための保育勉強会・後継者育成研修会」に変わり、今年度より「リーダー育成塾」を開講することとなりました。年5回、神奈川県の多様な立場、地区環境、施設類型の先生方が集い、語り合いながら「今、何が必要で、何を学び、何を目指すのか」を具現化すること目指し、私学経営・保育の両面に精通した真のリーダー育成を目的としています。

今年度は、工藤勇一先生・井上眞理子先生を講師にお迎えすることがすでに決定しています。

リーダー育成塾の初回は、6月10日（月）に『これからの時代に求められる幼児教育～中心にすえる2つの目標～』のテーマで講師・工藤勇一先生より組織改革マネジメントについて学ぶZoomでのオンライン研修を行いました。

工藤先生は、千代田区立麹町中学校の校長に就任されると、子どもの自律を重視した教育改革に取り組み、宿題廃止、定期テスト廃止、固定担任制廃止など従来「当たり前」であったことを改革されてきました。

また、昨年度まで校長をされておりました横浜創英中高等学校への就任後には、これからの社会の中で必要な力をつけることを重要課題として学校の実践として教育に取り入れ、保護者へその考えを広め、結果入学希望者数が激増しているそうです。





激変する現在の日本で、求められる力とは何か、これまでの考えにとらわれず、これからを見据え、世界に目を向け、教育を考えることが求められています。これからは、何を学び・どう学ぶかは、学ぶ側の立場から教育を考え、その子自身が主体的に問題の解決ができることが必要である。失敗が許され、自分をコントロールする環境に強い脳を作ることで、自律型の人材の育成を、と講演が続きました。

参加者の多くの方は、お話から自園の経営・これからの教育について、刺激を受け、揺さぶられ、次に向かうべき方向について多く考えさせられる時間となりました。

この「リーダー育成塾」は、工藤先生がお示しされたように、これからの時代に求められる幼児教育や園経営について考え、〝これまで〟にとらわれず、〝この時代に求められる〟園づくりのヒントを見つけていく時間です。そのため、講師からの話を伺うだけではなく、自分たちで作り上げる研修となっていきます。2回目以降からは、インプットとして講師からの学び、そしてその学びをしっかりと自らアウトプットする機会も設け、集った仲間で思いを語り合い、学び合います。

オンデマンド研修

次長　古木大悟

3密回避、パーテーション、濃厚接触者…新型コロナによって幼稚園は沢山の変化を強いられました。良かった点を挙げると、その一つは研修体形の変化、オンデマンド化ではないでしょうか。昨年度初めてリリースした上原先生の特別支援児研修も、述べ1200名以上の方に受講頂き関心の高さを確認できました。園に送られてくる研修のチラシも今ではオンデマンドが多いと思いませんか？それだけ現場ニーズが高いのだと思います。

オンデマンド研修とは、従来の実地研修やリアルタイムのオンライン研修に代わり、事前に録画されたビデオコンテンツを提供することです。具体的な利点としては、

1、自分のスケジュールに合わせて学習できるので、行事や保育の合間、移動中など好きなときに研修を受けることができる。

2、会場を準備する（会場費・スタッフ人件費）コスト、職員が移動をする時間とコストが削減できる。

3、分からないことは繰り返し見返すことができ、研修の質のバラツキがなくなる。

といった点が挙げられます。県連が企画する研修は、神奈川県といえども遠い園は横浜まで来るのに片道2時間近くかかる園もあるそうです。職員の先生の道中での事故、台風・雪など自然災害などのリスク、そして保育の長時間化（15時～17時の研修時間に保育がある職員が多い）等を考えると、県連のような広域組織には合っている方法であると考えて進めています。

ただし、保育の質を高める研修・研鑽という観点からは、オンデマンドだけでは補えない部分があります。例えば実技系の研修は、五感をフルに使うものも多くあります。触れて感じる、匂いを感じる、耳で聞くといった点は、みなさんが好きなアーティストのライブに行くのと、映像を見るのとが大きく違うように、同じ質を動画コンテンツで表現するのは今のテクノロジーでは難しいです。（あと20年も経つとVRなどの技術でこの感覚も埋まるのかもしれませんが！）

オンデマンドの欠点はまだあります。先生の講義を聞いたあとに質問することで理解が深まること、研修を一度受けたあと現場に戻って再び湧き上がった疑問と共に持ち帰るような往還型研修、保育者同士で意見を出しあいつくりあげる協力型研修などはオンデマンドが苦手としている部分です。実地の良さを十分に生かした研修は、各地区協会がその土地のニーズに応じて企画し、うまく棲み分けができればと考えています。

最後にオンデマンドの制作状況ですが、今年度は各地区から13名のスタッフの方にご協力頂き、4～5名からなる4つのグループを編成して動画作成に取り組んでいます。限られた予算ですので、編集等に費用をかけることはできませんが、各園に『どんなオンデマンド研修を見たいか』のアンケートも実施しました。初めての取り組みなので皆で手探り状態ですが、各グループがアンケートを元に話し合い、夏頃に撮影、秋には編集して、職員の先生が研修を受けやすい冬休みの前には6～7本を公開できればと考えています。

新しく始まったこの会が園長・後継者はもちろんのこと、今後リーダーとして園運営に関わる現場の先生方も、神奈川県内の同志と繋がる絶好の機会となることも願い、熱く充実した研修会としてまいります。

ご案内

令和4年度より、神奈川県教育委員会（子ども教育支援課・総合教育センター）が主催する研修の受講者に「研修参加確認証」が発行されることになりました。

処遇改善等加算に県教委の研修会も対象となっております。確認証の発行を希望される方は当連合会ホームページにて、参加証が発行される研修会と発行に関してのご案内を掲載しております。

当連合会ホームページより研修参加確認証をダウンロードし、研修会当日に持参し会場にて押印してもらってください。

※研修参加確認証の後日発行（押印）はできません。
※研修会のご案内は神奈川県私学振興課より、メールで配信されています。

文科委嘱 幼稚園教育の理解・発展推進事業 神奈川県研究協議会	7月23日（火）	9:30～16:30	神奈川県立 総合教育センター （藤沢市善行）
幼保こ小連携研修講座	12月12日（木）	13:10～13:50	神奈川県立 総合教育センター （藤沢市善行）

神奈川県私立幼稚園連合会ホームページ 研修参加確認証

令和6年度 神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 委員総会 開催報告

神奈川県私立幼稚園父母の会連合会（父母連）の委員総会が6月27日(木)に、かながわようちえん会館で開催されました。開会の挨拶では、寺尾康子父母連会長が「令和5年度も特に母親の声を関係各所に届けるべく積極的に活動を続けてきました」とこれまでを振り返り、田中伸宜神奈川県私立幼稚園連合会（県連）副会長は「幼児教育の重要性を訴えていくためには大きな組織である父母連の諸活動にご協力いただきたい」と期待を込めました。

次に、県連の教育相談事業について鈴木敦子教育相談員が解説し、「子育てで困っていることや気になることがあれば連絡してほしい」と利用を促しました。そして5年度の父母連常任委員8人が紹介されて議事に入りました。



議長に鈴木豊司総務部長が選出され、令和5年度の事業報告と収支決算報告及び監査報告、令和6年度の事業計画案と収支予算案が全会一致で承認されました。

令和6年度の役員選出では、委員総会で選出された常任委員による常任委員会が開催され、会長に神奈川県議会議員（川崎市麻生区選出）でもある小林武史さん（川崎協会）が、副会長には西山美佐子さん（川崎協会）と篠崎ケイ子さん（相模原協会）が選出されました。

最後に父母連活動に尽力された令和5年度の常任委員と監事に対して田中県連副会長から感謝状と記念品が贈呈され、石井和則県連副会長の挨拶で閉会となりました。

（文責・総務部次長　淺谷　学）

会長就任のご挨拶

神奈川県私立幼稚園父母の会連合会
会長　小林武史



皆さん、初めまして。川崎市麻生区の緑豊かな住宅街に位置する、川崎青葉幼稚園で年少の娘がお世話になっている小林武史です。この度、神奈川県私立幼稚園父母の会連合会の会長に就任するにあたり、一言ご挨拶をさせて頂きます。

今春から幼稚園に通う年少の園児たちは、コロナ禍で生活も価値観も大きく変わった令和2年度（2020年度）に生を受けた子どもたちです。また神奈川県は首都圏に位置し、かつ東京に次ぐ約920万人が住み多様性に富んでいます。最近では外国にルーツのある園児も珍しくありません。

かくいう私の妻はオーストラリア出身で、年少の娘は2つの国にルーツを持っています。忘れもしない2020年3月、出産を7月に控えていた妻は急遽翌日にオーストラリアの実家へ帰国するためフライトを予約しました。なぜなら、翌日の現地時間18時をもって、それ以降に到着するフライトの乗客は入国を拒否するとの政府発表がなされたためです。日本でも外国人の入国は原則受け入れない状況が続きましたが、家族など「特段の理由」を根拠に、翌年3月5日に妻は生後7か月半の娘を連れて羽田空港へ戻ってきました。出産に立ち会えず、出産後はリモートで様子を観察していた我が子との初めての対面でした。

私にこういったストーリーがあるように、おそらく年長や年中のコロナ禍で子育てに励まれた保護者の皆さんお一人お一人にもご自身のストーリーがあると思います。そして不安になった時も、苦しい時も、一人で抱えることが多くて自暴自棄になった時も、苦労を乗り越える力を与えてくれたのは、愛する我が子の笑顔と同じ状況下にあったママ友、パパ友であったと思います。悩みを抱える保護者が、気軽に相談できる会長になれるよう努力して参ります。

最後になりますが、多方面でご活躍されている歴代の会長先輩方と比べますと、会長としても、親としてもまだまだ経験不足です。しかし気持ちだけでも負けないよう、神奈川県の私立幼稚園に通う園児たちは皆我が子との想いで会長職を全うして参ります。そのためにも、神奈川県私立幼稚園に園児を託して下さる保護者の皆さん、先生始め各園関係者の皆さん、そして父母の会連合会常任委員の皆さんのご理解とご協力が必要です。皆さんの園児を想う愛情を結集したワンチームで一年間進んでいきたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。



令和6年度父母の会連合会常任委員名簿

役職	氏名	園名	協会
会長	小林武史	川崎青葉幼稚園	川崎
副会長	西山美佐子	潮見台みどり幼稚園	川崎
副会長	篠崎ケイ子	認定こども園田名幼稚園	相模原
会計	葛西桃子	セント・メリー幼稚園	横浜
会計	有田希美	フレンド幼稚園	横浜
委員	山本　文	津久井幼稚園	横須賀
委員	寄角ふく子	認定こども園中央マドカ幼稚園	湘央
監事	田中千鶴	善隣館幼稚園	横浜

令和6年度 神奈川県私立幼稚園父母の会連合会 研修大会(予定)

場所　神奈川県立音楽堂
日時　11月19日(火)10時00分開会
講師　入江　陵介(いりえ　りょうすけ)
　　元世界水泳日本代表選手、オリンピックメダリスト

研修会報告

研究研修部主催　振興部主催

開催日	研修名	会場	講師	テーマ	参加者数
5/21(火)	新規採用教員研修会 第1回	鶴見大学	聖徳大学大学院教職研究科 教授、聖徳大学三田幼稚園 園長　塩　美佐枝 先生	保育者としてのスタート～子どもたちのために～	100名
6/10(月)	リーダー育成塾 第1回	オンライン研修(ZOOM使用)	元横浜創英中高等学校 校長　工藤　勇一 先生	私学経営・保育の両面に精通した真のリーダー育成について考える	97名
6/27(木)	設置者・園長 特別研修会	ようちえん会館	TMI総合法律事務所 パートナー弁護士　大河原　遼平 氏	私立学校法の改正への対応について	107名

感謝をこめて

退任理事・運営委員・監事の紹介

令和４・５年度にわたり県連役員として公私共にお忙しい中、ご活躍をいただき誠にありがとうございました。

各役員の先生方におかれましては、そのお力を遺憾なく発揮され、県連のさらなる発展ができました。また、各協会長におかれましても、地区協会の活動を推進され、地域における私立幼稚園の社会的地位向上に向けてご貢献されましたことは県連合会の誇りと言えます。

今後も先生方の園の発展と貴協会のさらなる隆盛をお祈り申し上げます。

役職		氏名(○印は協会長)	園役職	園名
顧問		永保固紀	理事長	認定こども園　田名幼稚園
運営委員	理事 研修事業部次長	檜木元生	理事長・園長	こすもす幼稚園
	理事 振興部	○黛　裕治	理事長・園長	清心幼稚園
	経営管理部長	清水満正	理事長・園長	まきが原幼稚園
	振興部次長	○齊郷浩之	理事長・園長	中津幼稚園
	研究部次長	久冨多賀子	園長	岩崎学園附属幼稚園
	振興部	○余郷有聡	理事長・園長	津久井幼稚園
	振興部	○新井宏明	園長	かまくら幼稚園
	振興部	○森　荘一	園長	聖マリア幼稚園
	振興部	○豊嶋常和	園長	ひかりの子幼稚園
	振興部	○武藤保之	園長	友愛幼稚園
	研究部	石井稔江	理事長・園長	かぐのみ幼稚園
	研修事業部	青木正子	理事長・園長	平塚めぐみこども園
	経営管理部	水島博恭	副園長	梅の木幼稚園
監事		磯川　浩	理事長	倉見幼稚園

法律相談



R&G横浜法律事務所

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい4丁目4番2号
横浜ブルーアベニュー２階
TEL.045-671-9654



県連窓口担当 西村将樹 弁護士

情報の性質について

個人情報の漏えい事故が報道されることは珍しいことではなく、様々な啓蒙活動や法改正が行われても事故の発生は減少傾向となっていません。保護者からも個人情報の取扱いについて指摘を受ける機会もあると思いますが、個人情報といわゆるプライバシーとは区別して考える必要があります。プライバシーはみだりに他人に開示されないことが法的に保護される私生活上の情報であり、個人情報とイコールではありません。例えば官報、新聞、ホームページ、SNS 等で公開されている特定の個人を識別できる情報も個人情報には該当しますが、既に公開されている以上プライバシーに該当するのかという問題があり、当該情報の性質を十分に理解して事案に対応することが必要です。

教育相談



相談の申し込み

電話・ホームページから事務局へ申し込みください。
TEL.045-440-3210
http://www.shinshiyou.com



教育相談員 鈴木敦子 先生
(臨床発達心理士)

よみがえるシッポ

６月初めの新聞に外遊びをする子としない子の二極化が進んでいるという記事がありました。保育現場でも運動が苦手な子が増えているようです。そこで東北のある地域では面白いルールを採用しました。「シッポ取りゲーム」で自分のシッポを取られてもコート外にあるあたらしいシッポをつけてまた戻れるというものです。シッポを取られたら終わりではなく、そこには勝ち負けがありません。ただ運動を楽しみます。「単なる鬼ごっこや椅子取りゲームはやらないようにしている」との保育士のコメントもありました。競争の中でルールを学び、勝ったり負けたりの経験をする。重要です。しかし遊びの楽しさを純粋に十分体験する方が幼稚園児にはこの時期もっともっと重要ではないでしょうか。

広報委員会からのお知らせ

この度、県連合会の組織改革に伴い「広報室」から「広報委員会」に名称が変更となりましたが、総務部所属であることや活動内容は変わりません。これからも会報誌やHPを通して加盟園の皆様をはじめ多方面の方々へ必要な情報や研修報告等をお届けして参ります。行政関係・政治団体・養成校の皆様にも私立幼稚園・認定こども園のことを今以上にご理解いただく機会となれば幸いです。そして、協賛してくださっている事業者の皆様にとっても有意義な広報活動の場となりますよう願っています。

今後も更なる内容の充実を求め委員一同、努めて参ります。尚、原稿依頼をお受けになった際は、ご協力の程よろしくお願いいたします。

広報委員会

令和６・７年度　広報委員会委員名簿

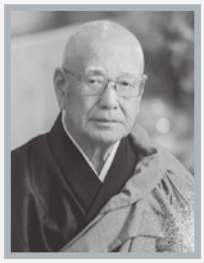
担当副会長	田中　伸宜	(綾南幼稚園)
総務部長	鈴木　豊司	(認定こども園 横須賀幼稚園)
総務部次長	淺谷　学	(中野島幼稚園)
広報委員長	島田　美緒	(浅野記念御濠端幼稚園)
広報副委員長	近藤　康弘	(名瀬幼稚園)
委員	仁藤　一成	(川崎こまどり幼稚園)
	鈴木　砂織	(しらぎく幼稚園)
	野末　晃秀	(中山幼稚園)
	髙野　正基	(湘南台幼稚園)
	杉崎　直人	(茅ケ崎すみれ幼稚園)
	橘川　好一	(綾瀬ゆたか幼稚園)
	吉村文比古	(誠心第二幼稚園)

神私幼223号
発行 公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会 〒二二一-〇〇五五 横浜市神奈川区大野町一-二五 横浜ポートサイドプレイス五〇九 アネックス五F TEL 〇四五-四四〇-三二一〇 FAX 〇四五-四四〇-三二〇九
印刷 (有)石黒印刷 〒二三一-〇〇五六 横浜市南区通町三-五〇-一 シティコープ弘明寺一〇一号 TEL 〇四五-七一三-〇〇八〇 FAX 〇四五-七一三-〇〇三六



Ⓒビッグ錠

訃　報



神奈川県私立幼稚園連合会の元会長であり、顧問でもありました永保圀紀先生（認定こども園　田名幼稚園）が去る1月26日にご逝去（享年80歳）されました。

永保圀紀先生は県連合会の会長を3期5年（平成13年度～平成17年度）、平成22年度からはご逝去されるまで顧問として在任いただき、長きに亘り県連合会のため、幼児教育の発展のためにご尽力いただきました。また地元、相模原では「泳げ鯉のぼり相模川」の運営を進められ子どもたちや地域の方々のためにご貢献されてこられました。感謝をするとともに、ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

ようこそ連合会へ Welcome

新規加盟予定園情報

公益社団法人横浜市幼稚園協会　学校法人國學院大學　國學院幼稚園

〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2-32-1
TEL. 045-901-4515
FAX. 045-901-4516
理　事　長：佐柳 正三
園　　長：黒澤 聡子
設立年月日：昭和43年12月20日
ホームページ：https://kokugakuin-youchien.ed.jp/index2.php



賛助会員を広く募集します

加盟園の皆様からのご紹介をお待ちしています。ぜひ県連事務局へご連絡下さい。







